

FavorPrep™ MicroElute GEL/PCR Purification Kit

Cat: FAEPK 000B (4 回分) / FAEPK 001B (50 回分) / FAEPK 001-1B (100 回分)

本製品は研究用です

v 230208

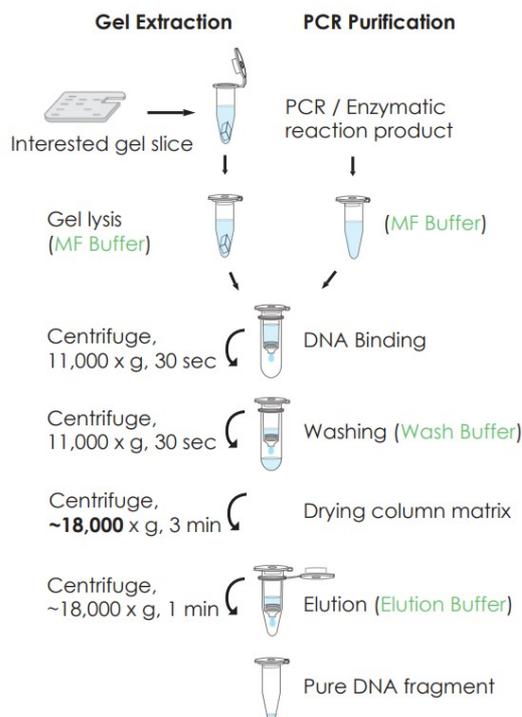
📦 キットの内容

	FAMPK 000B (4 preps_sample)	FAMPK 001B (50 preps)	FAMPK 001-1B (100 preps)
MF Buffer	3 ml	30 ml	60 ml
Wash Buffer (concentrated)*	1 ml	12.5 ml	20 ml
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	5 ml
MF Columns**	4 pcs	10 pcs × 5	10 pcs × 10
Collection Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs
*添加する 96-100%エタノール量			
Wash Buffer (concentrated)	4 ml	50 ml	80 ml

**MF Column はフィルターの劣化防止のため受取後、4~8℃で保存してください。

📦 基本情報

構成	スピナラム (シリカメンブレン)
結合量	5 μg
サンプル量	最大 200 mg (アガロースゲル) 最大 100 μl (PCR 産物)
DNA サイズ	65 bp~10 kbp
回収率	70~85% (アガロースゲル) 85~95% (PCR 産物)
操作時間	10~20 分
最少溶出量	10 μl



📦 重要事項

1. 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
2. Wash Buffer は開封時にエタノール (96~100%) を添加してから使用してください。
3. アガロースゲルからの抽出の際は、ゲル断片を最小限にし、サンプル量を 200 mg 以下にしてください。
4. PCR 産物の濃縮や精製の際は、サンプル量 100 μl 以下、DNA 断片 5 μg 以下にしてください。
5. 遠心分離は、11,000~18,000 × g で行ってください。

操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

＜アガロースゲル＞

ヒント:ステップ 4 のためにドライバス又はウォーターバスを 55°Cに設定してください。

1. 目的の DNA を含んだゲルの部分を切り出します。
* サンプルのゲルの量を最小限にするため、余分なゲルを取り除いてください。
2. 200 mg までの切り出したゲルをチューブ（お客様でご用意ください）に移します。
* 最大サンプル量は 200 mg です。超過する場合は、複数のチューブに分けて処理してください。
3. 500 μ l の MF Buffer を加え、ボルテックスで混和します。
* アガロース濃度 2%以上のゲルを使用する場合は、1,000 μ l の MF Buffer を加えてください。
4. 55°Cで 10~15 分インキュベートします。ゲルが完全に溶けるまで 2~3 分毎にボルテックスしてください。
* インキュベート中にボルテックスを行うと、ゲルの溶解を促進できます。
* 次のステップへ進む前にゲルが完全に溶解していることを確認してください。
5. サンプル混合物を室温まで冷まします。そして、MF Column を Collection Tube に取り付けます。
6. 700 μ l のサンプル混合物を MF Column へ加えます。11,000 \times g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
* 700 μ l を超える場合は、残りのサンプル混合物についてステップ 6 を繰り返します。
7. 600 μ l の Wash Buffer を MF Column に加えます。11,000 \times g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
* Wash Buffer にエタノール（96-100%）が添加されていることを確認してください。
8. 最大速度（ \sim 18,000 \times g）で 3 分間遠心分離し、MF Column を十分に乾燥させます。
重要ステップ! :このステップで残留液体を完全に除去する必要があります。
9. MF Column を新しいチューブ（お客様でご用意ください）へ取り付けます。
10. \geq 10 μ l の Elution Buffer または ddH₂O を MF Column の膜中央へ加え、1 分間静置します。
重要ステップ! :効率よく溶出するために、Elution Buffer を完全に吸着させてください。
重要:10 μ l 以下で溶出しないでください。収量が減少します。
* 平均溶出量は 12 μ l の Elution Buffer を使用した場合、10 μ l です。
11. 最大速度（ \sim 18,000 \times g）で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

<PCR 産物>

1. 10-100 μ l までの PCR 産物（オイルを除く）をチューブ（お客様でご用意ください）に移し、5 倍量の MF Buffer を加え、ボルテックスで十分に混和します。
例) 50 μ l のサンプルに対して 250 μ l の MP Buffer を加える。
* 最大サンプル量は 100 μ l（オイルを除く）です。超過する場合は、複数のチューブに分けて処理してください。
2. MF Column を Collection Tube へ取り付けます。
3. サンプル混合物を MF Column に移します。11,000 \times g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
4. 600 μ l の Wash Buffer を MF Column に加えます。11,000 \times g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
※Wash Buffer にエタノール（96-100%）が添加されていることを確認してください。
5. 最大速度（ \sim 18,000 \times g）で 3 分間遠心分離し、MF Column を十分に乾燥させます。
重要ステップ！ : このステップで残留液体を完全に除去する必要があります。
6. MF Column を新しいチューブ（お客様でご用意ください）へ取り付けます。
7. \geq 10 μ l の Elution Buffer または ddH₂O を MF Column の膜中央へ加え、1 分間静置します。
重要ステップ！ : 効率よく溶出させるために、Elution Buffer を完全に吸着させてください。
重要: 10 μ l 以下で溶出しないでください。収量が減少します。
* 平均溶出量は 12 μ l の Elution Buffer を使用した場合、10 μ l です。
8. 最大速度（ \sim 18,000 \times g）で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

トラブルシューティング

<アガロースゲル>

ゲルが溶解しない	
アガロースゲル濃度が2%以上	サンプルに対して 1,000 μ l の MF Buffer を加えてください。
ゲル断片が大きすぎる	ゲル断片が 200 mg を超過する場合は、複数のチューブに分けて溶解してください。
低収量	
サンプル量が多い	1 カラムあたり 200 mg 以上のゲル断片を使用しない。
DNA の溶出が不十分	Elution Buffer や ddH ₂ O の pH が 7.0-8.5 であることを確認してください。
	Elution Buffer がカラムに完全に吸着したことを確認してから遠心分離を行ってください。
DNA 断片が 5 kb より大きい	60°C に温めた Elution Buffer を使用すると、溶出の効率が上がります。
溶出した DNA が non-specific DNA 断片を含む	
切り出し用メスの汚染	新しいもの、または洗浄したメスを用いてください。
DNA が変性している	溶出した DNA を 95°C で 2 分インキュベートし、徐冷することで変性した DNA をアニーリングしてください。
精製した DNA がその後のアプリケーションで正しく機能しない	
塩が残留している	カラムを Wash Buffer で 2 度洗浄してください。
エタノールが残留している	Wash Buffer で洗浄した後のろ液を廃棄し、さらに 3 分間遠心分離を行ってください。

<PCR 産物>

低収量	
サンプル量が多い	サンプルが 100 μ l を超過する場合は、複数のチューブに分けて溶解してください。
DNA の溶出が不十分	Elution Buffer や ddH ₂ O の pH が 7.0-8.5 であることを確認してください。
	Elution Buffer がカラムに完全に吸着したことを確認してから遠心分離を行ってください。
DNA 断片が 5 kb より大きい	60°C に温めた Elution Buffer を使用すると、溶出の効率が上がります。
精製した DNA がその後のアプリケーションで正しく機能しない	
塩が残留している	カラムを Wash Buffer で 2 度洗浄してください。
エタノールが残留している	Wash Buffer で洗浄した後のろ液を廃棄し、さらに 3 分間遠心分離を行ってください。